# GIGAスクール構想推進のための指導案例 (全校種 全教科・領域共通)

(例:中学校英語科 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3 PROGRAM 6)

## 6 本 時(第7時)

#### (1) 目標

自分の学校にある(いる)自慢のもの(人)について紹介する文を書くことができる。

## (2) 展 開

特問   学習活動   指導上の留意点   学習活動における     5分		I <del>II</del> I			
10分 2 セクション1~3 の内容について復習 する。	時間	学習活動	指導上の留意点		
10分 2 セクション1~3 の内容について復習する。 ・これまでの授業で配付し、生徒が各自タブレットに保存している地図や写真、表などを見ながら音声を聞かせ、セクション1~3の概要を再確認させる。 ・電子黒板で画像を提示しながら Q&A を行い、本文の正確な内容を確認させる。 ・電子黒板で画像を提示しながら Q&A を行い、本文の正確な内容を確認させる。 ・ボイヤンさんの取組について感じたことを表表する。 ・前時に作成したマッピングを用いて、自分の学校にある (いる) 自慢のもの (人) を紹介する英文を、入力スキルの差に配慮しながらタブレットのワークシートに書かせる。	5分	1 挨拶・ウォームア	・簡単な Q&A や Small Talk により, 英語		
の内容について復習 する。		ップをする。	の授業の雰囲気づくりに努める。		
の内容について復習 する。					
する。 などを見ながら音声を聞かせ、セクション1~3の概要を再確認させる。 ・電子黒板で画像を提示しながら Q&A を行い、本文の正確な内容を確認させる。 ・ボイヤンさんの取組について感じたことを、タブレットのノートに書いて共有させる。 ・がら)自慢のもの(人)を紹介する英文を、入力スキルの差に配慮しながらタブレットのワークシートに書かせる。 マ解のポイント>・関係代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。・聞き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。・聞き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。・で品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の発えがきりの文章になっているか。 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の発表)とその準備(家庭学習)をしてく場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、	10分				
		の内容について復習	ブレットに保存している地図や写真,表		
・電子黒板で画像を提示しながら Q&A を 行い、本文の正確な内容を確認させる。 ・ボイヤンさんの取 組についての感想を 発表する。 ・前時に作成したマッピングを用いて、自 分の学校にある (いる)自慢のもの (人)を紹介する英 文をタブレットのワークシートに 書かせる。 <評価のポイント> ・関係代名詞などを用いてまとまりのある 英文が書けているか。 ・関き手・読み手を意識した自然なつなが りの文章になっているか。 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共 有するとともに、次時の予定(紹介文の 発表)とその準備(家庭学習)をしてく ることを伝える。 「情報活用能力の評価 規準は記入しない。 タール・簡 規準は記入しない。 タール・簡 規準は記入しない。 の記入例で) 「本書がせる。 「中品をいくつか紹介し、優れた表現を共 有するとともに、次時の予定(紹介文の 発表)とその準備(家庭学習)をしてく 場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、 場面を太字で記入し、 場面を太字で記入し、 場面を太字で記入し、		する。	などを見ながら音声を聞かせ、セクショ		
			ン1~3の概要を再確認させる。		
5分       3 ボイヤンさんの取組について感じたことを、タブレットのノートに書いて共有さを、タブレットのノートに書いて共有さを、タブレットのノートに書いて共有させる。       情報活用能力の評価規準は記入しない。         20分       4 自分の学校にある(いる)自慢のもの(人)を紹介する英文を、入力スキルの差に配成したマッピングを用いて、自分の学校にある(いる)自慢のもの(人)を紹介する英文をタブレットのワークシートに書かせる。       (各教科・領域の記入例で)         本をタブレットのワークシートに書かせる。       夢様代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。       ・関係代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。・関き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。         10分       本時のまとめをし、次時の予告と家庭学習の確認、挨拶をする。とその準備(家庭学習)をしてくることを伝える。       1人1台タブレット端末等をメインで活用した場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、			・電子黒板で画像を提示しながら $Q\&A$ を		
組についての感想を 発表する。 せる。			行い,本文の正確な内容を確認させる。		
組についての感想を 発表する。 せる。	_ ^	o Barrer of	1 / 1 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 / 2 /		
<ul> <li>発表する。</li> <li>せる。</li> <li>4 自分の学校にある (いる)自慢のもの (人) を紹介する英文をタブレットのワークシートに 書かせる。</li> <li>一クシート書く。</li> <li>「関係代名詞などを用いてまとまりのある 英文が書けているか。</li> <li>・関き手・読み手を意識した自然なつなが りの文章になっているか。</li> <li>・間き手・読み手を意識した自然なつなが りの文章になっているか。</li> <li>・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共 有するとともに、次時の予定(紹介文の 発表)とその準備(家庭学習)をしてく ることを伝える。</li> </ul>	5分			I(	
20分       4 自分の学校にある (いる)自慢のもの (人) (いる)自慢のもの (人)を紹介する英文を,入力スキルの差に配文をタブレットのワークシートに書かせる。       知・思・態 (各教科・領域の記入例で)         文をタブレットのワークシートに書かせる。       書かせる。         ・関係代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。・関き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。・・ 関き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。・・ 作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の発表)とその準備(家庭学習)をしてくることを伝える。       1人1台タブレット端末等をメインで活用した場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、				規準は記入し	ない。
(いる)自慢のもの (人)を紹介する英文を、入力スキルの差に配慮しながらタブレットのワークシートに書かせる。 < 評価のポイント> ・関係代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。 ・聞き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。 ・「関き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の習の確認、挨拶をする。 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の名)をサインで活用した場面を太字で記入し、		発表する。	せる。		
(いる)自慢のもの (人)を紹介する英文を、入力スキルの差に配慮しながらタブレットのワークシートに書かせる。 < 評価のポイント> ・関係代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。 ・聞き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。 ・「関き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の習の確認、挨拶をする。 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の名)をサインで活用した場面を太字で記入し、	20分	4 自分の学校にある	・前時に作成したマッピングを田いて「白	知・思・能	作品
(人)を紹介する英文を、入力スキルの差に配文をタブレットのワークシートに書いせる。       の記入例で)         (大きタブレットのワークシートに書かせる。       書かせる。         (評価のポイント>・関係代名詞などを用いてまとまりのある英文が書けているか。・聞き手・読み手を意識した自然なつながりの文章になっているか。・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共次時の予告と家庭学習の確認、挨拶をするとともに、次時の予定(紹介文の変更を対して、表表)とその準備(家庭学習)をしてくることを伝える。       1人1台タブレット端末等をメインで活用した場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、	2073		•		1644
文をタブレットのワークシートに 書かせる。   本時のまとめをし, 次時の予告と家庭学 習の確認,挨拶をする。   本時のまとを伝える。   大きを伝える。   大きを大力で活用した   本事を表示した   大きを大力で活用した   大きを大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を大力を					
一クシート書く。				ODEL JOY OF	
マントン   ・関係代名詞などを用いてまとまりのある   英文が書けているか。   ・聞き手・読み手を意識した自然なつなが りの文章になっているか。   ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共   大時の予告と家庭学   習の確認、挨拶をす   名。   ・をメインで活用した   場面を太字で記入し、   ・					
<ul> <li>・関係代名詞などを用いてまとまりのある 英文が書けているか。</li> <li>・聞き手・読み手を意識した自然なつなが りの文章になっているか。</li> <li>た作品をいくつか紹介し、優れた表現を共 次時の予告と家庭学 習の確認、挨拶をす る。</li> <li>発表)とその準備(家庭学習)をしてく ることを伝える。</li> <li>・関係代名詞などを用いてまとまりのある 英文が書けているか。</li> <li>・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共 有するとともに、次時の予定(紹介文の 等をメインで活用した 場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、</li> </ul>		一クシート音へ。			
英文が書けているか。         10分       5 本時のまとめをし、 次時の予告と家庭学 習の確認、挨拶をする。       ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共有するとともに、次時の予定(紹介文の発力と、名表)とその準備(家庭学習)をしてくることを伝える。       1人1台タブレット端末等をメインで活用した場面を太字で記入し、場面を太字で記入し、			· · ·		
りの文章になっているか。  5 本時のまとめをし、 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共					
10分 5 本時のまとめをし、 ・作品をいくつか紹介し、優れた表現を共 次時の予告と家庭学 有するとともに、次時の予定(紹介文の 3 では) 1人1台タブレット端末 等をメインで活用した る。 発表)とその準備(家庭学習)をしてく 場面を太字で記入し、					
次時の予告と家庭学 有するとともに、次時の予定(紹介文の 1人1台タブレット端末 習の確認、挨拶をす 発表)とその準備(家庭学習)をしてく 場面を太字で記入し、 場面を太字で記入し、			, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		
習の確認,挨拶をす 発表)とその準備(家庭学習)をしてく 等をメインで活用した 場面を太字で記入し,	10分	5 本時のまとめをし,	・作品をいくつか紹介し,優れた表現を共		
る。 ることを伝える。 場面を太字で記入し、		次時の予告と家庭学	有するとともに、次時の予定(紹介文の	1人1台タブレ	ット端末
る。  ることを伝える。  場面を太字で記入し,				/	
<u> </u>				場面を太字で	記入し,
	L			<sup>L</sup> 枠で囲む。	

## (3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断	自分の学校にある(いる)自慢のもの(人)について,関係代名詞
される状況	を含め既習表現を用いたり、主体的に辞書等で調べたりしながら、
	まとまりのある英文で正確に書くことができる。
「おおむね満足できる」状	関係代名詞を使って書かれた、ものや人を紹介する文を例示したり、
況を実現するための具体的	単語や表現したいことを辞書やタブレット端末等を使って調べる支
な指導	援をしたりする。